



2月23日 新春交流会を開催

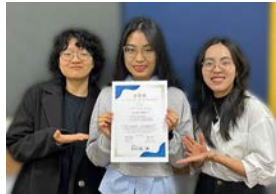
今年の新春交流会は4大学10グループが参加したアニメのアフレココンテストと日本の話芸「落語」を企画しました。

アニメの吹き替えは日本語学習の中でも楽しんで取り組める活動です。参加チームは「君の名は。」「名探偵コナン」「千と千尋の神隠し」の3作品の好きな場面を切り取って、吹き替えを試みてくれました。舞台俳優の米倉紀之子さんには、動画に台詞を合わせるコツ、日本語の発音やイントネーション、感情表現などについて、オンラインで指導をおねがいしました。

優勝 貿易大学 珠玉の原っぱグループ 『ご縁』

「ご縁」とは人と人の運命的な繋がり、流れ星のような美しいものだと思います。人と人を結ぶ「ご縁」や「結び」は目には見えないし、触れることもできない抽象的な物で、意識しようとしなくても、とても忘れがちです。それで脚本家の「結び」についての考えを中心とするシーンにしました。人生経験の多いおばあちゃん役から伝えた場面により、人とのつながりの大切さがよく伝わりました。「一期一会」のように、出会いを大事にし、これが最後のように行動したほうがいいということがとても勉強になりました。

(ウオン・バオ・チャウ、グエン・レービン・グエン、
レー・グエン・トウエット・ゴック)



学生の声優たちは、時には一人が何役も演じ、感情を込めた台詞、方言、個性的な登場人物、緊迫した場面の早口の台詞などを見事に表現していたとおもいます。コンテストですから順位をつけましたが、どのグループを選ぶかに悩むほど、どれも素晴らしい出来でした。

落語家の参遊亭遊助さんは学生にもわかる話し口で、会場を沸かしてくれました(*下欄の記事参照)。「交流会はおもしろかったよ」という感想をいただき、何よりの励みになりました。

(副理事長 奥山 寿子)

第2位 清華大学 葉っぱグループ
『鍛えられた日本語の表現力』

今回、私たちは一緒に「君の名は。」のワンシーンを吹き替える機会をいただき、とても貴重な経験になりました。この機会を通じて、日本映画文化やアニメ文化の魅力をより深く味わうことができ、同時に、日本語の表現力も鍛えられました。また、他のチームの演技を見て、自分自身の不足も感じるようになりました。最初は、台詞のイントネーションや感情の込め方が難しく、うまく表現できるか不安でした。しかし、米倉先生の丁寧なご指導のおかげで、少しずつ進歩し、自然に演じられるようになりました。本当にありがとうございました！

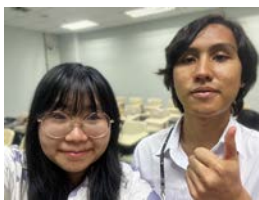


(林昕 張雨晗 康芒麗)

第3位 タマサート大学 N1取得したいグループ

『素敵な活動』

[ジューム] 難しかったです！セリフが早くて、声の演技も難しく、何度も言い直しましたが、とても楽しかったです！どのグループも素晴らしかったです。特にあの名探偵コナンのセリフが早いシーン、驚きました！「君の名は。」の悲しいシーンの演技も素晴らしくて、マイクをOFFしながら、つい、



「泣くわー」と言いました。他の千と千尋の湯婆婆の声もめっちゃ好きです！

[ミュウ] 難しかったです、とても楽しかったです。まさかアフレコをすることになるとは思いませんでした。最初は友達と一緒に楽しい活動がしたいと思っただけでしたが、第3位を取れるなんて全く期待していませんでした。嬉しいです！こんな素敵な活動の機会をいただき、本当にありがとうございました。

(ジラバト・リアングバルムン [ジューム])

ピチャーモン・スワットウィリヤボン [ミュウ])

新春交流会の高座から

2021年にオンラインで「アジ風」の落語をご披露して以来です。まず落語に馴染みがない学生さんのために、落語の説明から入りました。次に古典落語「まんじゅう怖い」をアレンジした「マックが怖い」を、少しゆっくり、簡単な言葉に置き換えて聴いて頂きました。

最後に、学生さんが小唄にチャレンジしてくれました。清華大の李祉月さんは自作の「忘れんぼう」というショート唄を披露し、

口調、人物の描き分けなどたいしたものでした。貿易大学のグエン・ティ・ハイさんは実は難しい短い小唄を上手に演ってくれました。パジャジャラン大学のマルシャアンディニ セブティアニ ハンディカさんが二つの小唄にチャレンジ。なんかゆとりを感じる演技でした。



皆さん、素晴らしいチャレンジ精神でした。

(ゲスト 参遊亭遊助)

究極の日本語学習ー日本アニメのアフレコに挑戦

交流4大学のIメイト有志グループによるアフレコ実技コンペは、アジ風として初めての企画と伺っていましたが、10グループの熱意あふれる演技に大いに感銘を受けました。Iメイト学生たちは、異国の文化背景で語られるアニメストーリーを、異国の言語で演じなければ



らないのです。登場人物の役柄への感情移入はできるにしても、それを異言語で表現しなければならない難しさは想像に難しくありません。読んで、話す能力に加えて感情表現まで求められるアフレコ実演は、究極の日本語学習かもしれません。見事な声色の変化でアフレコを演じられた皆さんは、将来の声優の卵たちのようでした。

(正会員 小山 昌久)

定着したIメイトオンライン交流会

1月12日 貿易大学オンラインIメイト交流会

会員と学生の合計36名が参加しました。学生集会の報告やビデオメッセージ、自己紹介に始まり、学生グループと2名の会員による「両国の伝統的な祭り」の発表がありました。最後はグループで和気藹々と交流を楽しみました。(コーディネーター 小林 玲子)

異文化交流の大切さを実感

交流会はとて有意義でした。他の学生の発表や意見に、自分の考えを伝えるだけでなく、異なる視点を知ることにより、より深い理解につながったと感じました。日本語での発表は緊張しましたが、良い経験になりました。

「日本橋恵比寿べったら市」は、地域ごとの特色ある祭りの魅力を再認識し、特に、「べったら漬け」という伝統的な食べ物が祭りと深く関わっていることが印象的でした。「近所の神社のお祭り」では、神社のお祭りは単なる宗教行事ではなく、地域の人々が交流し、文化を受け継ぐ場であることを改めて理解しました。日本文化への理解が深まり、異文化交流の大切さを実感した交流会でした。

(4年 ファム・ド・モク・ラム Iメイトは山田 琴恵さん)

ワクワクとドキドキの混じる交流会

貿易大学Iメイト交流会では毎回趣向を凝らした学生達からの動画を楽しみにしています。今回の交流会のテーマである「各国の伝統的な祭り」で紹介されたフォン川でのボートレース祭りの白熱したレースは実際に見てみたいものです。交流会ではベトナムの伝統行事や日常を知る貴重な機会であると同時に、日本について理解を深めてもらう場でもあり正しい情報を伝えられているか？と自問し少し緊張しますが、毎回学生達の快活な姿や柔軟な発想に刺激を受け楽しく交流しております。

ワクワクとドキドキが入り混じるIメイト交流会、次回も楽しみにしております。

(正会員 山田 琴恵)

2月16日 架け橋グループオンラインIメイト交流会

2024年組と来日中の2023年組との合同オンライン交流会を行い、アットホームな雰囲気でお話しました。

2024年組に日本留学でやりたいことを聞くと、研究の他に北海道をはじめ日本各地への旅行も気軽にしているようです。2023年組には日本での生活を紹介してもらい、「来日して驚いたこと

は？」と聞くと「街中にゴミ箱がない」といった身近な感想も聞くことができました。

架け橋の皆さんは留学決定後に日本語学習を始める人が多いのですが、交流会では全員が日本語で話してくれました。皆さんのポテンシャルに脱帽！(コーディネーター 小関 高志)

3月15日 清華大学オンラインIメイト交流会

交流会では、陳先生のお話、中国1か所、日本3か所の魅力的な世界遺産を紹介する発表、小グループに分かれての自己紹介や話し合いを通じて交流が深められました。交流会後の学生と会員からの感想を紹介します。(コーディネーター 河野 美希)

日常生活に直結している世界文化遺産

本日の交流会において、私は中国と日本の世界文化遺産について多く勉強することができました。特に、伊藤春雄さんの紹介を通じて、平泉を訪れ、その美しい景色や深い文化や歴史に、オンラインとは言え、直接触れることができたことは、何より楽しかったです。また、今回の交流会を通じて改めて世界文化遺産というものとは決して遠い存在ではなく、我々の日常生活に直結しているという認識を再確認できたことが、たいへん有意義なものでした。もちろん、グループディスカッションにおいても楽しい一時を過ごすことができました。今後もこのような交流会に参加したいと思います。 (2年 李孟軒 Iメイトは伊藤 春雄さん)

刺激的な交流会に

日本語学科2年生12名とそのIメイト会員12名の交流会は、指導教官の陳朝輝副教授も参加され、次の学年から学科定員が大幅増員されるので、交流の活発化への期待を強調されていました。

まず全体で世界遺産の紹介があり、中国からは「福建土壘」(客家の集合住宅)、日本からは「中尊寺」「五箇山」「沖ノ島」が紹介されました。次に、4グループに分かれてフリーに意見交流しました。世界遺産のほか食べ物などが話題になり、はじめは硬かった学生も、終盤には結構気楽におしゃべりしていました。初めて顔を合わすIメイトもあり、刺激的な交流会となりました。

(正会員 浮田 輝彦)

OB OG 便り

こんにちは赤ちゃん

レー・チャー・ミーさん出産のお祝い

ハノイ貿易大学2年の時からIメイトとして、現在も交流を続けていますレー・チャー・ミーさんが2024年11月に男児を出産されました。2025年1月、お祝いにチャー・ミーさん宅を訪問しました。元気な赤ちゃんを抱いた姿を見て、感激ひとしおです。この2月には乳飲み子を連れ、故郷ニンビンに里帰りするとの事です。

Iメイトになった当時は日本語はあまり得意ではありませんでしたがN1も取得し、奈良女子大学大学院修士論文は担当教授から高い評価を得たとの事、その努力には頭が下がる思いです。

これからも、チャー・ミーさんの益々の発展と、家族のご多幸を祈念しています。(正会員 佐藤 賢三)

子育てにつながるアジ風の絆

11月28日無事に産出しました。日本での産出は、医療体制が整っており、安心して臨むことができました。産院のスタッフの皆様のおかげで、産出に対する不安も少なく、非常に心強く感じました。初めての子育てには不安もありますが、赤ちゃんの成長を見守る毎日が幸せです。赤ちゃんの笑顔に癒され、授乳やおむつ替えを通してその成長を実感しています。

また、赤ちゃんがいることをきっかけに、より広い住まいに引っ越すことを決意しました。偶然にも、アジ風の松島沢枝さんが同じ地域にお住まいであることを知り、本当に嬉しいです。

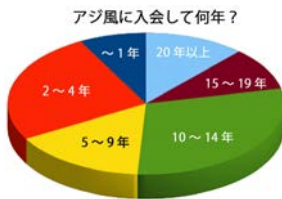
今後も赤ちゃんの成長を見守り、家族や友人、そして新しい仲間達と共に良い思い出を作りたいです。

(正会員 カオ・トゥエット・ニュン)

「アジ風新聞」『別冊 I メイト便り』のアンケート結果報告

「アジ風新聞」および『別冊』の役割を、新メンバーを加えた編集委員5人で話し合う中で、①アジ風交流活動の充実・強化
②新聞を通じた会員の増強がその柱であると思に至りました。また、新聞がどの程度読まれ関心を持たれているか、新聞にどのような期待が有るかを知らないと、アンケート調査の提案を致し、2

月に会員とIメイト学生全員に問い掛けました。回答頂いた結果及び貴重で率直な意見を纏め報告いたします。協力に感謝し、今後もアンケートで寄せられた意見を参考に編集を進めて行きたいと思っております。Iメイト学生のアンケートからも学ぶべき点が多く、あわせて報告いたします。
(山田 稔)



設問		会員(52人)		設問	学生(36人)	
		新聞	別冊		新聞	別冊
アジ風新聞/別冊を読んでいる	全部読んでいる	40	32	新聞/別冊を読んでいる	読んでいる	8
	興味ある記事のみ	12	18		聞いた事がある	16
	ほとんど読まない	—	2		知らない	12
学生と記事について話す	話している	24	12	別冊を読んでいる	全部	1
	話さない	28	40		関心ある部分	5
アジ風新聞の発行回数について	適切	41		どこ(何)で読んでいる	先生の研究室	2
	多すぎる	4			送付PDF	5
	その他(* 註)	7			HP	3
新聞の郵送からWEBへ切替	WEB切替を希望	16		これからも読みたいか	はい	31
	WEB切替は不可	22			いいえ	1
	WEBのみ	12			わからない	4

(* 註) 適切だが編集者の負担大(4)、適切だが削減も可(1)、紙の情報量は少ない(1)、HPと新聞の違いは?(1)

会員回答 (52名) 回答率 27%

新聞への意見

- ① 新聞は会員勧誘のツールになっている
- ② 「Iメイト便り」欄は見直す必要がある

扱って欲しいテーマ

- ① 留学生の悩み、苦労話、各大学での話題
- ② 留学生の懐事情と自国での生活レベル
- ③ 留学生を案内した場所・留学生の日本の社会、風物への感想
- ④ 学生の故郷便りや手作り料理
- ⑤ OB・OG から後輩へのメッセージ
- ⑥ 交流に関する失敗談
- ⑦ 就職時の面接・ビザの手続き、インターンシップの体験談

Iメイト学生回答 (36名) 大学別回答学生数 貿易大学 15名、タマサート大学 12名、清華大学 7名、パジャジャラン大学 2名 新聞に掲載してほしい事項や希望

- ① 日本人会員とのメールで、注意すべき日本語の間違いを知りたい

- ② 投稿ページに興味がある。実際の交流会に参加したことがないが、投稿記事から日本での交流会をある程度理解でき、機会があればぜひ参加したいと思う
- ③ 色々な国の学生達とIメイト会員のやり取りを通して、意見や価値観を交換し、課題に寄り添えるところが良い
- ④ スタートアップや起業に関する記事をもっと読みたい
- ⑤ 日本各地の特産品、おすすめのお土産の紹介
- ⑥ 国際協力、地域内の国々との関係構築上の課題や機会。相互理解を促進し、関係構築のための講義や文化活動

回答者が期待ほど伸びなかったのが残念だが、それだけに答えて下さった会員、学生達の意見は宝だ。学生達に「アジ風新聞」『別冊』が浸透しておらず、読んでいない学生が多数なのは、これからの大きな課題だろう。その一方で、原稿依頼があれば書くという学生が多いのはありがたく、依頼方法も一考である。同時に、大学サイドへの働きかけの必要も感じた。

ぜひ皆さんの率直な意見を伺いながら「灯台の役割を期待」を実現すべく、これからも取り組んでいきたい。(島村 美智)

会員紹介

山田 稔さん

山田稔さんは昭和18年生まれの81歳で、生まれは島根県出雲市です。

出雲と言えば神話日本発祥の地の一つ。出雲を代表するタケミナカタノカミと大和を代表するタケミカヅチノカミの神が力比べをし、国は大和に譲られることになり、負けたタケミナカタノカミは信州の諏訪湖に封じこめられました。出雲の神大国主命(オオクニヌシノミコト)の霊を鎮める為に作られたのが出雲大社です。48mの(96mとも言われる)巨大な神社が建造されました。雲太・和二・京三(出雲大社、奈良の大仏殿、京都大極殿)が日本の三大建築物と口ずさまれました。十月即ち神無月(カンナヅキ)には全国から神々が出雲に集結するので、この地では神在月(カミアリヅキ)と呼ばれます。出雲大社には正面に大和の三体の神が祀られており、縁結びの神様の大国主命は西向きに祀られているようで、折角お参りしても拝礼の方向を間違えるとご利益

は薄いのだそうですよ。

そんな出雲で高校を卒業する迄育てられた山田さんは九州工業大学に進まれ、金属工学を学ばれました。1966年に神戸製鋼に就職し、溶接材料や製造設備の開発に携わられました。かつてのユーゴスラビアへの出張を皮切りにヨーロッパ、エジプト、ロシアなど世界各国を訪問されました。1995年から1999年までアジアクライシス最中のタイに駐在され、溶接材料の製造・販売会社の増強に尽力されましたが、その会社も見事に危機を脱し、今も順調に経営を続けているそうです。



そのタイを後年奥様と共に再訪された帰りの飛行機の隣の席に大変魅力的な女性が座り、反対隣の席の奥様に気を使いながら、話が盛り上がりしました。別れ際に「アジ風に入会されませんか」と誘われたのがきっかけで、帰宅後早速インターネットでホームページを探し、勇躍入会されたのだそうです。素敵なお父様でした。
インタビュー：園田 成和



今回はパジャジャラン大学の学生達と交流されておられる二人の便りです。中山真理子さんは昨年11月だけで6通(3往復)と活発に交流されている様です。横山茂明さんは昨年秋の現地交流会に参加されて学生コーディネーターでもあるフィタさんと親しく交流され、その流れでインドネシアに大変興味を持たれ、フィタさんから寄贈されたインドネシア作家の歴史小説を始めとして幾つかの本を読了された様です。
(コーディネーター 鈴木 一美)

中山真理子さんとルメンタ マルガレス マヌルンさんの交流

中山さん→ルメンタさん

2024年11月8日



地震と噴火があったそうですが、お住まいの地域は大丈夫でしたか?

エタさんの日本語はとてもナチュラルですね! 修正する必要はなさそうですが、もし間違いがありましたらお伝えしますね。

難しい言葉やわからない文章などありましたら遠慮なく聞いてくださいね。

ルメンタさん→中山さん

11月10日

心配してくれてありがとうございます。私の住んでいる地域は安全で、大丈夫です。真理子さんはどんな曲が好きですか?

中山さん→ルメンタさん

11月16日

お住まいの地域は安全とのこと、安心しました。普段はジョングクの曲をよく聞いています。

ルメンタさん→中山さん

11月22日

最近、いろいろな課題やイベントの準備で忙しく、学期末前です少しばたばたしています。明日、「絵本」という活動があり、これは先生と学生が絵本を子どもたちに読み聞かせ、そして一緒に絵本の作品を作るイベントです。

中山さん→ルメンタさん

11月30日

勉強やイベントで忙しくされていたのですね! 忙しい時は無理しないで、大学のこと優先してくださいね。子供たちに絵本の読み聞かせをして、子供たちと一緒に絵本を作ったのですか? 楽しそうですね! 以前、バリ島に旅行に行った時は突然、雨が前触れもなく降ってきて驚きました。でも、あつという間に止んで、また晴れるので日本の天気との違いに驚きました。



ルメンタさん→中山さん 12月2日

ありがとうございます。忙しい時期ですが、頑張ります! そういえば、昨日は日本語能力試験N3を受けてきました。いやー、なかなか大変でした(笑)。真理子さんはバリに行ったことがあるんですね。バリにいた時、どんな印象を受けましたか? 確かに、インドネシアの天気は本当に予測できなくて驚きます。今、こちらは雨季に入り、突然雨が降ることが多いので、いつもジャケットを着て傘を持っていくようにしています。ところで、東京の季節はどうですか? もう冬になりましたか?

横山茂明(Ziggy)さんとフィタリ サルサビル ナチュワさん(フィタ)の交流

Ziggy→フィタさん

2024年12月11日

フィタさんこんにちは。久しぶりにメールを送ります。UNPADでフィタさんに会った時に頂いた本(This Earth of Mankind プラムディヤ・アナンタ・トゥール著)を読みました。とても感動しました。

フィタさん→Ziggy

12月21日

Ziggyさんこんばんは。小説、気に入ってもらってとても良かったです! Ziggyさんが歴史に興味があると仰いましたのでインドネシア作家の歴史小説を買いました。



お元気ですか? 私はいつものように元気です。事前のメールに使った言葉、文法を修正してくれてありがとうございます! いつも参考になりました。

フィタさん→Ziggy

2025年1月22日

私は、大学から社会奉仕活動(Kuliah Kerja Nyata)という主題があって、1月11日から1か月間15~20人のグループで、西ジャワにある田舎に住み、活動をする主題です。私達は村にある問題や村の人達の活動を手伝い、少しでも役に立つ活動をしています。今日を数に入れるとすでに12日間ここにはいますが、毎日まだホームシックを感じています。でも、私のグループ友達は優しい人ばかりで、安心することが出来ます!

Ziggy→フィタさん

1月29日

メールをありがとう。日本語が上手になりましたね。フィタさんのメールの文章はほとんど直すところはありませんが、少しだけ直しておきました。ところで、社会奉仕活動、素晴らしい活動だと思います。このような学生時代の経験は大切ですね。こういう経験を積むと、将来自分のやりたいことがだんだん見えてくるでしょう。ホームシックはつらいけれど、もう活動は終わりましたか? きっと村の人たちに喜んでもらえたことでしょう。では、またメールやビデオ通話を楽しみましょうね。

Ziggyから: 実際のメールは1回分だけでも、この紙面に収まらないので、上記は一部の抜粋です。できるだけ尊敬語や謙譲語を使わず、平易な文章をやりとりすることから始めています。

今後の行事予定

<http://www.npo-asia.org>
new-wind2006@npo-asia.org

4月19日

パジャジャラン大学Iメイト交流会

4月27日

タマサート大学Iメイト交流会

5月11日 東日本交流会(リアル)

5月16日~18日 ハノイ貿易大学訪問

5月25日 出前講座

(キャリアカウンセラーによる就活セミナー)
「なぜ日本で働くのか? 日本で働く意味は?」

・・・編集後記・・・

3月28日に発生したミャンマー大地震は、隣国タイにも大きな被害をもたらしたとの報に接し、タマサート大学の皆様は無事でしたでしょうか。私たちアジ風一同は、皆様に心よりお見舞い申し上げます。さぞ不安な余震の日々をお過ごしになられていることと存じます。

1995年の阪神淡路、2011年の東日本、そして2024年の能登と巨大地震を経験した私たちは、地震発生を耳にする度に、我が家のストックは大丈夫かなと心配し、外出中は今地震が起こったらどこに逃げようかと見渡して気を引き締めるのですが、最近はいよいよ日常の雑事に紛れて、忘れてしまいがちです。「備えあれば憂いなし」というものの、大地震のような自然の脅威に対しては、「常に備えて憂え」が適切かもしれません。さて、AIが進化して地震予知が可能になる頃まで、私は生き延びているかな?
(浅山 久美子)